

## 東京都とうきょうすくわくプログラム推進事業活動報告書

|     |                   |
|-----|-------------------|
| 所在地 | 東京都世田谷区桜新町 2-12-4 |
| 園名  | ベネッセ桜新町保育園        |

### 1. 活動のテーマ

#### <テーマ>

「感性と表現」絵本、積み木、光  
～あたたかかってなんだろう？～

#### <テーマの設定理由>

今年度は「素材研究」をテーマに、日常保育にある絵本や積み木に着目し、素材の価値を捉え直しながら、子どもの興味・関心や「すくすく・わくわく」を引き出すことを目指している。また、老人ホーム・学童・保育園の合築施設という環境を活かし、世代間交流も視野に入れながら、表現力や言葉の力の育ちにつなげていく。さらに、3～5歳児の異年齢での小グループ活動や、0～2歳児からの継続的な関わりを通して、探究心や主体的な表現を育む実践を全クラスで展開していく。

本実践では、少人数での対話的な環境を活かし、「あたたかい」という抽象的なテーマをもとに、体験や対話を通して感じたことを言葉にし、互いの思いに触れながら考えを広げていくことをねらいとした。

### 2. 活動スケジュール

1. 絵本『おふろだいすき』の読み合い・「お風呂好き？」の対話
2. 水とお湯に触れる体験（入浴剤などを用いた実験）
3. 戸外での「ぽかぽか探し」
4. 大冒険マップづくり

### 3. 活動のために準備した素材、道具及び環境の設定

- ・絵本の読み合いを通してテーマへの興味を引き出し、安心して対話できる環境を整えた。
- ・水やお湯、入浴剤などを用い、五感で「あたたかさ」を感じられる体験の場を設定した。
- ・虫眼鏡や散歩バッグなどを用い、戸外での探索活動への期待感を高めた。
- ・発見を共有するために写真や模造紙を用い、表現できる環境を整えた。
- ・補助金で購入した絵本や積み木を活用し、見立てや再現を通してイメージを広げられるようにした。
- ・少人数で落ち着いて対話できるよう、外的刺激の少ない空間を選定した。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

絵本の読み合いから始まり、水やお湯に触れる体験、戸外での探索活動、マップづくりへと展開した。

「あたたかい」というテーマをもとに、体感や発見を言葉や表現につなげ、子ども同士の対話を通して考えを深めていった。

##### 活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり

初回は緊張する姿も見られたが、絵本や問いかけを通して少しずつ自分の思いを言葉にしようとする姿が見られた。水やお湯に触れる中で「つめたい」「あったかい」「ぬるい」など体感したことを表現し、言葉と感覚を結びつけていた。戸外活動では虫眼鏡などを使いながら「なんでだろう」と問いをもち、自然物への気づきや探究する姿が見られた。

マップづくりでは発見を思い出しながら表現し、年上児が年下児を支えるなど協働的な関わりが生まれていた。振り返りでは自分の意見を伝えたり友だちの考えを受け入れたりする姿が見られ、対話の深まりが感じられた。

#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た職員の気づき>

絵本や体験活動を通して子どもたちの興味が持続し、主体的に関わろうとする姿につながっていた。対話や体験の積み重ねにより、子ども同士が互いの考えを受け入れ、新たな気づきや表現が生まれていた。少人数で丁寧に関わることで、一人ひとりの思いや変化を捉え、協働的な関係性の育ちにつながっていた。保育者は関わりすぎず見守ることで子どもの発想を引き出せることや、子ども主体の大切さを改めて実感した。

